

腸疾患の増加を背景に、炎症性腸疾患の鑑別診断が2号に分けて企画された。本号はその(1)として、小腸・回盲部病変を中心に特集された。その(2)では大腸病変を主体に特集号が組まれることになっている。言うまでもないが、炎症性腸疾患は病型と病期によって所見が変わる。また腫瘍と違って多発することが多く、連続性の病変でも病変の中に所見の強弱がみられる。更に自然に、また治療次第によって短期間に形態が変化しやすい。ゆえに腫瘍の場合とは異なった診断法の理論化が要求される。

その真髄は白壁の序説に窺われる。すわなち従来から白壁は、炎症性腸疾患の局所の診断学として、病変を点(point)、線(line)、面(area)に分け、その組み合わせの所見と変形学で診断する必要性を強調してきた(PLA理論)。今回、新たに展開を示している。それは局所の変形学に加えて、病変の深さを粘膜層、粘膜下層、筋層、壁外といった各層ごとの病態を推定しうることで、また初めて診たときに総合診断と推移の予測が診断できるようでなければならないと述べ、dynamic double contrast studyという新用語を用いて形態学の方向性を明らかにしたことである。ぜひ熟読していただきたい。

西俣は小腸の各病変について、X線像の解析を切除標本と組織像に裏付けされた直接所見として理論化を忠実に進めている。地味であるが、白壁理論を支え、

グループ研究の深みを伝えている。小林と多田は臨床の場における炎症性腸疾患の鑑別診断を、それぞれ臨床像と内視鏡所見について総説的に述べている。小林は病変の空間的拡がりやを常に念頭に置いて鑑別診断を進めていく必要性を強調し、多田は内視鏡的に理論を作るには症例の集積が足りない謙虚に述べている。今後の発展に望みたい。

次に飯田と岩下による協同研究はこれまで種々の業績を挙げてきたが、今回の虚血性小腸炎でも、その真価を発揮している。彼らによる虚血性大腸炎に関する論文の姉妹編とも言うべきものであろう。大腸と小腸における虚血性病変の類似性と相違性を形態学的に示してくれたので理解しやすい。読者の方々はこの疾患に関する考え方に幅と深みが加わったと感じられるに違いない。

ところで八尾の主題研究は新発見と思想性において特筆すべき内容を含んでいる。アフタ潰瘍だけから成る小腸 Crohn 病の8例について、微細診断と経過の立場から論じている。そこには著者の言う形態学に立脚した精緻な診断学で、Crohn 病の自然史、すなわち発生から発育・進展までを追求しようとする気迫と執念が伝わってくるようだ。

炎症性腸疾患には、まだまだ行方べき研究が目前に多く積み重なっている。本誌ならではの臨床研究の継続と発展を期待したい。特に若い研究者に!

胃と腸

6月号(第25巻・第6号) 予告

発売予定 6月2日
定 価 1,854円(税込)

主題／炎症性腸疾患の鑑別診断(2)―大腸病変を中心に

序 説	大腸炎の鑑別診断について……………東大医大・消	長 廻 紘
主 題	炎症性大腸疾患の鑑別診断―X線診断の立場から……………千葉県がんセンター	瀬崎 徳久・他
	炎症性腸疾患の鑑別診断―内視鏡の立場から……………東北大・3内	樋渡 信夫・他
	炎症性腸疾患の病理学的鑑別診断―大腸病変を中心に……………新潟大・1病理	渡辺 英伸・他
主題症例	縦走潰瘍を呈し Crohn 病との鑑別を要した潰瘍性大腸炎の1例……………北里大	小林 清典・他
	非定型的潰瘍性大腸炎との鑑別が困難であった大腸 Crohn 病の1例……………	平田 一郎・他
	大腸結核との鑑別が困難であった大腸 Crohn 病の1例……………大阪医大・2内	平田 一郎・他
	アフタ様潰瘍の多発から典型的病像に進展した Crohn 病の1例……………東大医大	飯塚 文瑛・他
	術後小腸に炎症が再発した潰瘍性大腸炎の1例……………東大医大	馬場 理加・他
	アフタ様潰瘍だけからなる腸管 Behcet 病(疑わしい型)の1例……………順大・消内	碓井 芳樹・他
	過敏性血管炎による腸病変の1例……………虎の門病院・消	吉田 行哉・他

胃と腸 (第25巻 第5号)

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-91 東京都文京区本郷5-24-3

☎ 社内案内 (03) 817-5600

本誌編集室直通 (03) 817-5714

販売部直通 (03) 817-5659

1990年5月25日発行(毎月25日発行)

1部定価 1,854円(本体1,800円)(配送料81円)

年ぎめ予約購読料 22,710円(本体22,049円)

(本年13冊)

(送料弊社負担)

FAX (03) 815-7802

振替口座 東京 7-96693 番

印 刷 所 永和印刷(株) ☎ (03) 813-5001

広告取扱 医界弘報社 ☎ (03) 814-5771

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. © 1990, Printed in Japan.

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権の侵害となることがありますので御注意下さい。

(担当)長谷川・江口・窪田・大竹